

地域の医療をサポートする情報誌

# caress press

カレスプレス - 愛と信頼の輪 -

2019  
新年号  
No.33

## CONTENTS

### 特集1 2019年 新年のご挨拶

社会医療法人認定10周年記念

### 特集2 社会医療法人 社団 カレス サッポロ学術集会

第90回 法人全体研修会を開催 他院に理解していただける自施設紹介②

### 特集3 「カレス プレミアムガーデン」

NURSE\*NURSE

TOPICS

救急合同研修会を実施しました

認知症看護についての研修会を実施 他

caress 社会医療法人 社団 カレス サッポロ

特集

# 2019 新年のご挨拶



## —— 新たな年に向けて

社会医療法人 社団  
カレス サッポロ  
理事長 大城 辰美

新年あけましておめでとうございます。今年は皆様にとって良い年でありますことを祈念いたします。

昨年は、北海道胆振東部地震により農産物や海産物並びにインフラ等に多くの被害がもたらされました。被災地の皆様には心からお見舞い申し上げますとともに早期の復興を願っております。近年は、今までの常識が当てはまらない台風や豪雨などの自然被害が多発しており常時事前の準備の必要性を感じるようになりました。皆様も自然災害への取り組みに万全を期することを願うものであります。

国内は 2020 年東京オリンピックの開催、2025 年には大阪万博の開催が決まり都市地区は活況を帯びて新築の高層ビルが立ち並び AI を中心としたハイテク産業が革新的な技術を次々に発表しており華やかさが目立ちます。しかし一方では、人口減少にともない海外からの労働者の

受け入れ、各自治体は老朽化した水道管の更新費用が賄えずに水道事業の民営化が認められ、安心と安全が当たり前のことであった水でさえも変化しようとしております。我々の生活周辺も徐々に変化してきており、必ずしも良い方向に向かっているとは限りませんが与えられた条件の下で柔軟に対応していくしか方法はありません。

これらのことは、医療と介護の世界においても良いことも悪いことも含めて少なからず影響が出てまいります。このような変化の著しいときは、来るべき未来をイメージして準備すべきものは何なのかを見極めて行動し実現していくことだと思います。

そのような中で今年は、当法人として初めての試みとなる温泉ホテルプレミアム・レイクトーヤが 3 月に開設し、就労付高齢者施設プレミアムガーデン北円山建築工事が 10 月に着工するなど新規の大型事業がスタートいたします。法人の医療事業と介護事業に付加価値をつける意味からも着実に仕上げたいと思っております。

このように今年も慌ただしい一年が予想されますが、法人理念である「原点から考えなおす保健・医療・福祉～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～」を基本に今年も地域医療の発展に尽力して参りますので宜しく願い申し上げます。

# 社会医療法人認定10周年記念 社会医療法人 社団 カレス サッポロ学術集会

2018年11月17日、ホテルロイトン札幌にて「社会医療法人認定10周年記念 社会医療法人 社団カレス サッポロ学術集会」が開催されました。

社会医療法人は、平成30年7月1日現在で294法人が認定されています。(厚生労働省発表)

カレス サッポロにおいては、平成20年7月10日、全国で初めて、社会医療法人の認定を受け、本年で10年という節目の年となっています。

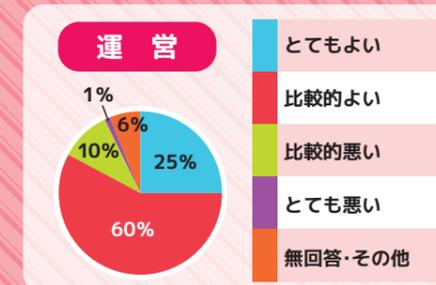
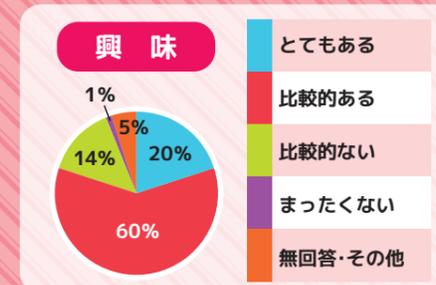
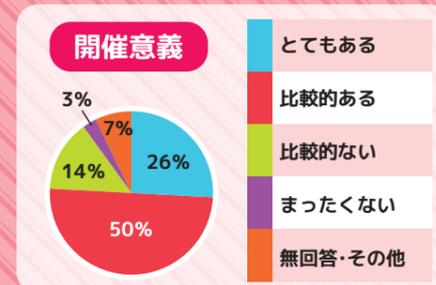
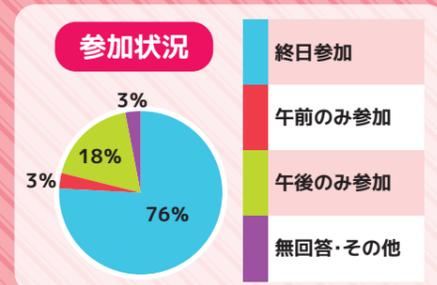
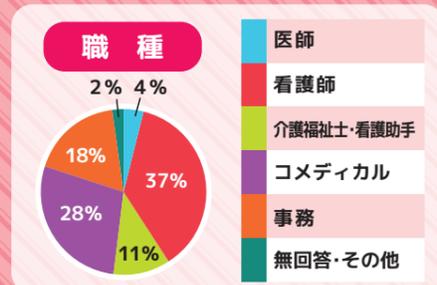
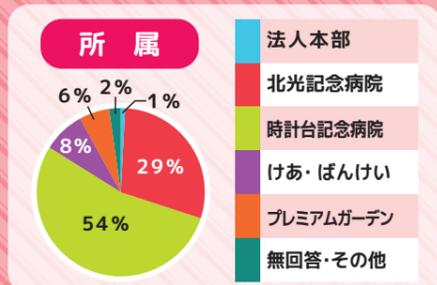


これを機に、カレス サッポロの職員が一堂に会し、「カレス サッポロ法人各施設における学術研究や業務改善活動を共有し、研鑽を積む機会とする」ことを目的に、平成30年11月17日(土曜日)「社会医療法人認定10周年記念 カレス サッポロ 学術集会」が、ロイトン札幌で開催されました。

法人各施設の教育委員会を中心に、選りすぐりの職員を集めて準備委員会を立ち上げ、企画・運営を担当しました。

約8ヶ月という準備期間の中で、「原点から考え直し未来を創造する～新しい時代へ変革の種をまく～」を学会テーマとして、試行錯誤、紆余曲折、悪戦苦闘の中で、時に笑い、時に涙しながら迎えた当日は、総参加者463名、特別講演2題、市民公開講座2題、保健・医療・福祉施設向け公開講座1題、そしてなにより発表演題67題という大盛況の学会となりました。

## アンケート結果



## Catch up!

### — 午前の部

大会長である大城理事長の開会宣言を皮切りに、各施設長より、開会に際してのご挨拶をいただきました。その後第1会場では、特別講演I「社会医療法人の今・昔 社会医療法人の歴史をたどり、意義を考える」をテーマに、一般社団法人日本社会医療法人協会 会長、西澤寛俊 先生に講演をしていただきました。次いで、保健・医療・福祉施設向け公開講座として「診療報酬・介護報酬同時改定の検証と病棟編成の行方」をテーマに 株式会社ASK 梓診療報酬研究所 中林 梓先生より講演をしていただきました。また、第2会場では市民公開講座1「北海道ブラックアウトはこうして起こったそして今やらねばならない対策は」をテーマに、電力・環境問題のスペシャリスト 株式会社あかりみらい 代表取締役 越智 文雄 先生より興味深いお話を頂くことができました。そして、市民公開講座2「まずは自分のコップを満たしましょう。自分の生き方を後回しにしない生き方」をテーマに、現役看護師であり僧侶でもある玉置妙憂先生より講演をしていただきました。現役看護師として働く傍ら看護、介護、闘病で苦しむ人々へのスピリチュアルケア活動をされている体験から大変貴重なお話を聞くことができました。



そして、午前の部の最後は、ランチョンセミナーとして、北海道大学病院 病院長 寶金 清博先生より地域医療の将来像をテーマにご講演していただきました。



いずれの講演も、「とても興味深い内容で、楽しく学ぶことができた」「講演を聞いて癒された」など、好評な講演となりました。

## プログラム

### 第1会場

#### 特別講演I

「社会医療法人の今・昔  
～社会医療法人の歴史をたどり、意義を考える～」  
一般社団法人 日本社会医療法人協会 会長 西澤寛俊

#### 特別講演II

「社会医療法人の可能性の追求」  
社会医療法人 社団 カレス サッポロ 理事長 大城辰美

#### 保健・医療・福祉施設向け公開講座

「診療報酬・介護報酬同時改定の検証と病棟再編の行方」  
株式会社ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役 中林 梓

#### ランチョンセミナー

「先進医療はどこに向かうのか」  
北海道大学病院 病院長 寶金清博

### 第2会場

#### 市民公開講座I

2018年9月  
「北海道ブラックアウト」はこうして起こった  
そして今やらねばならない対策は  
株式会社あかりみらい 代表取締役 越智 文雄

#### 市民公開講座II

まずは自分のコップを満たしましょう  
～自分の幸せを「後回し」にしない生き方～  
現役看護師の僧侶/二児の母 玉置 妙憂

## 一般演題(口述)



午後の部は第 1 会場と第 2 会場に分かれ、口述による一般演題の発表が行われました。

第 1 会場・第 2 会場それぞれ 16 演題を 4 セッションに分け、各セッションは施設や職種が均等になるよう工夫されています。普段交流することのない他施設や他職種の発表を聞くことで、お互いの活動を知ったり繋がりを深めたりすることができ、それが刺激となって、今後につながるのではないかと考えられたプログラムになっています。

また、第 1 会場は約 620 名が収容される大きな会場で、演者もこのような大きな会場での発表では緊張も大きかった

と思いますが、みなさん落ち着いた様子で発表していました。どの発表も興味深いものでしたが、特に緩和ケア病棟の発表では活発な意見交換が行われ、他病棟の看護を知り、より良い看護へつなげていこうという様子が見られました。

約 3 時間という短い時間の中ではありましたが、密度の濃い、有意義な学術発表となっていたのではないかと思います。このようなことが「原点から考えなおす保健・医療・福祉～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～」といった法人の理念を職員に浸透させ、患者さまへのより良いサービスにつながり、組織としての大きな発展につながっていくのだと思います。



## 一般演題(ポスター)

第 3 会場・第 4 会場ではポスターセッションが行われ、計 35 演題の発表を行いました。法人全体の学術集会ということもあり、他職種の人にも理解できるように、発表者の方々には図やグラフ・イラストなどを用いてわかりやすく発表をしていただきました。

興味深い発表も多く、活発な質疑応答もあり、今後、他の学会発表等

にも活かせるものも多かったのではないかと思います。各セッションの進行も滞る事もなく進めることができました。

初の法人全体の学術集会ということもあり、発表演題の募集・運営に至るまで苦労も多くありましたが、皆様方のご協力もあり無事に終える事が出来ました。演者・座長の皆様に感謝申し上げます。



特集3

第90回 法人全体研修会  
他院に理解していただける自施設紹介②  
「地域包括ケア拠点施設 カレス プレミアムガーデン」  
講師：地域包括ケア拠点施設 カレス プレミアムガーデン 事務長 塗田 潤

2018年11月14・15日に開催した法人全体研修会では、他院に理解していただける自施設紹介の第2弾として地域包括ケア拠点施設 カレス プレミアムガーデンの事務長より施設の紹介をしていただきました。

—— プレミアムガーデンの理念

カレス プレミアムガーデンは、「年齢や病気に関わらず、様々な健康問題に対応し、皆さまが住みなれた地域で安心して過ごすことができるよう『地域包括ケア拠点施設』として貢献します」を理念とし、病院に準じた安心、安全と病院以上のホスピタリティを提供しています。

—— プレミアムガーデンの特徴

カレス プレミアムガーデンは5階建ての建物で、1階には「よつば家庭医療クリニック」があります。内科・小児科・緩和ケア内科を標榜しており、外来診療のほか、訪問診療や通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションもあります。そして、2～4階部分は住宅型有料老人ホームとなっており、住宅型ではありませんが介護サービスを網羅した施設となっているのが特徴です。特に1階には大浴場、そして2階には住宅型では珍しい機械浴を設置しています。また、4階にはラウンジがあり、お盆やお正月など面会される方が一時的に増えることがありますので、そのような時に過ごして頂くスペースとなっています。

5階には屋上テラスがあり、天気の良い日にはテーブルを出して日光浴や、広さを活かして夏祭りのイベント会場などにも活用しています。この屋上テラスはプライバシーに配慮されており、外からは見えない構造になっています。

—— 住宅型有料老人ホームとは

住宅型有料老人ホームとは要介護者や、自立(介護認定を受けていない方)・要支援状態の高齢者を受け入れている施設で、生活援助や緊急時の対応、レクリエーションなどが受けられます。また、介護が必要な場合は、自宅と同様に訪問介護や訪問看護、通所サービスなど介護保険等の外部サービスを利用しながら生活することができます。

介護付き有料老人ホームと比べ、サービス事業所を選ぶまたは、複数のサービスを組み合わせることが出来るなどのメリットがあります。

—— 提供している介護サービスの紹介

プレミアムガーデンでは次の5つの事業所があります。

居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター

ケアマネジャーが、介護保険の申請やサービスの利用について調整を行います。介護にまつわる各種相談もお受けします。

カレス訪問看護ステーション

在宅で療養される方とご家族が、住みなれた地域で安心して生活できるよう、看護師とリハビリスタッフが専門的な知識をもとに、自立に向けた総合的な在宅ケア活動を行っております。24時間体制のホットラインもあります。

カレスヘルパーステーション

ご高齢者のご自宅へホームヘルパーがお伺いし、住み慣れたご自宅での日常生活をサポートします。身体介護だけでなく、生活援助や要介護状態が悪化しないよう予防に視点を置いた日常生活の相談などに対応しております。

カレスデイサービスセンター

住みなれた自宅や地域で暮らし続けるため、ご自宅までの送迎付きで、食事や入浴、レクリエーションなど、専門職によるサービスが受けられます。

カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

訪問介護・訪問看護(連携事業所によるサービス提供)を24時間365日体制で提供し、在宅生活を支えるサービスです。1日複数回の介助や看護が必要な方でも住み慣れた場所で安心して生活を続けていただくために必要に応じて随時対応訪問いたします。

ホームヘルパーとの違いは、決まった曜日・時間に訪問するのではなく、「随時」対応することが可能であるということです。

また、訪問に際しては、介護スタッフだけではなく、看護師とも連携することによって、介護と看護、両面からのサポートが可能で、その方にとって、必要なケアを、必要なタイミングで提供することが出来ます。

これらのサービスは入居者さまに自由に選んでいただくことができます。例えば以前から利用していたデイサービス使いたい場合や、サービスの提供時間の都合が合わないなど事業所の都合でサービスの利用に弊害が生じた際は、事業所

を変更して住宅での生活の継続することが出来るのが当施設の特徴でもあります。

—— プレミアムガーデンのイベント紹介

プレミアムガーデンでは様々なイベントを開催しています。食事を提供している委託業者の協力を得て、握りずしの実演を行うイベントは冬の大人気企画となっています。その他、外出行事として2018年はビール工場見学でジンギスカン、下水処理施設やトモエ醤油工場のなど見学に行きました。その他には外食ツアーとして近隣のレストランにも行きました。

夏には少し遠出をして小樽に行ってきました。当日は天気も良く、利用者さまやご家族様共に非常に喜ばれました。このイベントは、ご家族の車が介護者向けの車ではなかったり、長時間の移動に対する不安があったりと、ご家族だけでは中々遠方に行けないという声に代えて実現したものです。

今後はご家族や職員と一緒に温泉旅行などを企画しています。

カレス プレミアムガーデンは法人施設の特徴や機能を理解し、そのスケールメリットを活かしながら患者さま・入居者さまがその人らしく生活を送れるよう今後も支援を行ってまいります。



地域包括ケア拠点施設 カレスプレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

ホームページ <http://www.yotsubacl.jp/>

住宅型有料老人ホーム  
カレスプレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

ホームページ <http://www.p-garden.jp/>

在宅医療福祉支援センター

居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター・カレス訪問看護ステーション  
カレスヘルパーステーション・カレスデイサービスセンター  
カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

# Nurse\* Nurse



## 北光記念病院

## 時計台記念病院



### —— 新年に寄せて

北光記念病院  
看護部長 坂口 信子

新年あけましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお祈りいたします。

昨年、カレスプレスに寄せた新年のご挨拶では、平成30年もあつという間もない位のスピードで過ぎていくに違いない!と書きました。そして、その通りの1年でありました。

平成としての新年は今年が最後となり、新しい元号の始まりとなります。そんな新たな1年がどのような年になるのか今は想像もつきませんが、きっとまた瞬く間に過ぎていくことだけは間違いないと思います。

さて、北光記念病院の看護部は、一昨年より心不全患者さまを中心とした、「継続看護プロジェクト」を立ち上げました。心不全という疾患は、発症すると1年以内に3人に1人が再入院するといわれており、それを防ぐには退院後の自己

管理がとて重要となります。そのため、できるだけ再入院にならないよう入院中だけでなく、退院後も継続した看護が必須となります。入院したら病棟看護師、退院したら外来看護師という考え方ではなく、1人の患者さまのために、病棟も外来も在宅での看護も含めた包括的な看護を展開していくことを目指し、対象患者さまのカンファレンスには、部署・部門を問わず、退院調整看護師、訪問看護師やケアマネジャー、リハビリスタッフなどが集まって行っています。

さらに昨年からは、病棟看護師や外来看護師が、訪問看護師とともに、患者さまのご自宅への退院前訪問や退院後訪問なども行っています。

超高齢化社会はすぐ目の前に迫っています。「患者さまがいらして下さるのを待つ看護」ではなく、「病院・クリニックの看護師が患者さまのところへ伺って看護を提供する」ことは、これからのスタンダードな看護の姿になっていくかもしれません。



### —— 新年のご挨拶

時計台記念病院  
看護部長 根元 文栄

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、9月に「北海道胆振東部地震」が発生し、多くの犠牲者と甚大な被害がありました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

時計台記念病院の看護部は、看護を取り巻く体制を「整える」をキーワードに昨年活動してまいりましたが、臨床倫理と認知症看護の理解を深め、看護・介護の意識の向上・質の向上を目指す活動など、様々な取り組みを行いました。今年は、地域包括ケアシステムにおける外来の位置づけを整え、在宅と病院をつなぐ窓口となる外来看護の充実を行ってまいります。



厚生労働省は「2025年を目途に、高齢者尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指す」とし地域包括ケアシステムを構想しています。医療がさらに大きく変わっていく状況ではありますが、変革に柔軟に対応しながら、「愛と信頼の看護」を基軸に地域の皆様の健康と生活を支える看護部となるよう尽力いたします。

この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

北光記念病院 看護部

WEB <http://www.hokko.or.jp/nurse/>



時計台記念病院 看護部

WEB <http://www.tokeidaihospi.or.jp/ov-hp/department/nurse/>



## 新人教育研修の紹介

### 急変対応を受けて

北光記念病院 3病棟 5.0

増え、流れがスムーズになっていきました。

目標としていた迅速評価やアセスメントに応じた対応ができるということに関しては、ポイントを抑えることは出来たため、身に付けるには日々勉強していくことが必要と感じました。

9月に受けた急変対応の研修では、急変時に必要な観察とアセスメント、対応について学ぶことを目的に挑みました。事前にわかりやすい講義で知識を深めてからシミュレーションを行いました。

シミュレーションでは、1回行うごとにホワイトボードにできたことを書き、次にどう繋げるか課題を挙げていきました。そうすることで回数を重ねることにできることが



### VAP吸引尿道カテを受けて

北光記念病院 OCI J.0

操作を改めて確認することができました。上行性感染に至らないよう無菌的に操作することはもちろん尿道カテーテル、吸引どちらも患者さまへ侵襲を伴うケアですので声掛けや配慮を忘れずに実践していきたいです。

講義を通してVAP(人工呼吸関連肺炎)の予防の知識を深めてからシミュレーションを行うことで、知識を踏まえた技術獲得を行うことができました。VAPは看護師が早期から予防を行え、また異常があった場合は早期に発見することができるため、今回の研修で得た知識や技術を実践に移していきたいと思いました。

また、尿道カテーテルの研修では無菌



### 夜間巡視の基本を受けて

時計台記念病院 本館8階病棟 M.S

まだ夜勤の経験回数が少ない中で研修でしたので、今回初めて気づくことができたところもあり、大きな学びとなりました。

このシミュレーションで学んだ事を次回からの夜勤に活かしていきたいと思います。また、日勤の時も夜勤での患者さまの状態を予測しなければならぬことを学べたので、その視点を忘れずに日勤業務を行っていききたいと思います。



# TOPICS

## 救急合同研修会を実施しました - 北光記念病院

11月14日(水)18時から北光記念クリニック2階「地域ふれあい研修センター」にて救急合同研修会を実施しました。

当日は、職員の他に札幌市消防局の救急隊の方々や近隣の医療機関など約70名の参加がありました。

まずは過去に北光記念病院に搬送された2件の救急搬送事例について、搬送経過・当院への搬送後経過を救急隊・

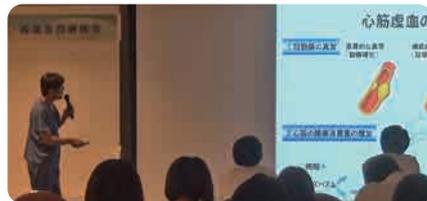
担当医師より報告が行われ、その後2つの症例に関連したミニレクチャーを担当医師が行いました。

参加者からは「先生の説明がわかり



職員の他に救急隊の方々や近隣の医療機関など約70名の参加がありました。

やすかった」「勉強になった」等の感想があり、大変有意義な研修会となりました。今後も救急隊の方々や地域の医療機関との連携を深めてまいります。



担当医師によるミニレクチャー

北光記念病院 ホームページ：<http://www.hokko.or.jp/>

## 認知症看護についての研修会を実施 - 時計台記念病院

時計台記念病院の看護部教育委員会では、11月29日カレス8ホールにて、認知症ケアの質の向上を目的とした認知



認定看護師による講演が行われました

症看護についての研修を開催しました。

講師に北光記念病院の認知症看護認定看護師である小笠原朋美さんをお迎えし、「認知症者の笑顔を目指したケア～そして医療者も笑顔になる～」というテーマでご講演いただきました。

研修では、疾患の特徴を捉えるための認知症疾患の基礎知識および周辺症状とせん妄の違いや、認知症の各症状

に応じたケアの実践に至るまで、実際に関わった患者さまの事例や経験を具体的に紹介していただきました。

院内各部署から約60名の看護師が参加し、“価値や個性を尊重し認知症をもつ人の視点を重視する”という、パーソン・センタード・ケアについて明日からの実践に活かすことができる内容を楽しく学ぶことができました。

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

## たんぼぼ棟で音楽鑑賞会を開催 - 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

利用者さまのご家族さまより「音楽を通じて利用者さまに楽しんで頂きたい」とのご要望をいただき、10月19日にたんぼぼ棟で、ギターやフルートなどによる生演奏会が実施されました。

幼少の頃から多くの楽器に慣れ親しみ、海外での演奏もご経験されているお二人の息の合った音色がフロア内に響き渡り、利用者さまもうっとり聴いておられ、昔を思い出すように曲に合わ

せて歌っていました。また、演奏の合間には楽器や曲についての紹介を丁寧にして頂きました。全ての演奏が終わると「もう終わってしまうの～」と名残惜しい声



息の合った音色がフロア内に響き渡ります

にも答えていただきました。予定を超えての演奏でしたが、利用者さまとスタッフの心も温まり素敵な時間を過ごすことが出来ました。



うっとり聴き入る利用者さまたち

介護老人保健施設 けあ・ばんけい ホームページ：<http://www.carebankei.jp/>

【基本理念】

原点から考えなおす保健・医療・福祉

～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

社会医療法人社団 caress サッポロ 関連施設のご案内

■ 法人本部

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号  
caress サッポロビル8階

TEL 011-207-1331 FAX 011-207-2332

■ 北光記念病院

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

TEL 011-722-1133 FAX 011-722-0501

【診療科目】

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科  
腎臓内科

■ 北光記念クリニック

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号

TEL 011-722-1122 FAX 011-722-1212

【診療科目】

内科・循環器内科・放射線科・脳神経外科・腎臓内科

■ 時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・形成外科  
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科  
泌尿器科

通所リハビリテーション

■ 時計台記念クリニック

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・形成外科・放射線科・眼科  
婦人科・脳神経外科・外科・リウマチ科・血管外科・泌尿器科

■ 介護老人保健施設けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

TEL 011-615-9623 FAX 011-615-2335

介護老人保健施設

短期入所療養介護

通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション

■ クリニカルシミュレーションセンター

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号  
caress サッポロビル7階

TEL 011-218-3337 FAX 011-218-3338

■ 札幌市中央区介護予防センター北一条

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号  
caress サッポロビル8階

TEL 011-251-1340 FAX 011-231-5433

地域包括ケア拠点施設

caress プレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

■ よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

【診療科目】

内科（総合診療）・小児科・緩和ケア内科

訪問診療も行っております

通所リハビリテーション  訪問リハビリテーション

住宅型有料老人ホーム

caress プレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

居宅介護支援事業所 caress 介護相談センター

TEL 011-722-3335 FAX 011-722-2233

caress 訪問看護ステーション

TEL 011-722-2522 FAX 011-722-2233

caress ヘルパーステーション

TEL 011-722-2511 FAX 011-722-2233

caress デイサービスセンター

TEL 011-722-3337 FAX 011-722-2233

caress 定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

TEL 011-722-3336 FAX 011-722-2233

caress サッポロ

検索

<http://www.caress-sapporo.jp/>